



## 美しい秋のパノラマ

どんぐりーん広場のコスモス畑 (大野市稲郷)

# おおの 議会だより

### 主な内容

9月定例会の概要	2	ページ
一般質問	3~7	ページ
9月定例会審議結果	8	ページ
常任委員会審査	9	ページ
各委員長報告	10	ページ

No.165 平成21年10月25日

発行：大野市議会  
〒912-8666 福井県大野市天神町1-1  
TEL0779-66-1111 FAX0779-65-3021  
<http://www.city.ono.fukui.jp/>  
編集：議会だより編集委員会

# 9月定例会市議会の概要

第三六五回定例会市議会は、八月三十一日から九月十六日までの十七日間の会期で開催されました。  
 今定例会では、二十一年度一般会計補正予算案をはじめとする十八議案を審議しました。そのほかに、議員提出の市会案一件、陳情一件、そして先の六月定例会から継続審査となっていた請願一件についても審議しました。

## 主な議案

### 条例

#### ○大野市屋外広告物条例（議案第六十三号）

##### （主な内容）

これまで県の屋外広告物条例に基づき屋外広告物の設置について規制を行ってきましたが、本市の伝統的なまちなみや美しい自然に代表される大野らしい景観を保全・形成していくため、条例を制定し、独自の基準で規制を行うものです。  
 設置禁止地域が拡大されるとともに、広告物の高さ・面積の基準や、のぼり、たて看板、照明広告等の規制が強化されます。



#### ○バス運行事業に関する条例の一部を改正する条例（議案第六十六号）

##### （主な内容）

本年十月一日からの公共交通の再編に係るバス等の試験運行の実施に伴い、市営バスの運行経路や運賃を改正するものです。改正の主な内容は次のとおりです。



① 白山線の運行経路について、市内循環バスの運行に伴い、大野駅から直接、東中の停留所を経由して五箇地区に向かうように運行経路を変更します。

② 和泉地区内を運行する前坂線と中竜線の運賃を、市内循環バスの料金に合わせて、定額の百円に引き下げます。

③ 白山線と和泉線の料金設定を、乗合タクシー等を勘案して、現行の「百六十円から九百四十円まで」を「百円から八百円まで」に改めます。

#### ○大野市国民健康保険条例の一部を改正する条例（議案第六十四号）

##### （主な内容）

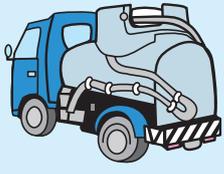
国の経済対策の子育て支援を受けて、本年十月から二十三年三月末までの出産育児の一時金を、現行の原則三十八万円から四十二万円に引き上げるものです。



#### ○大野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例（議案第六十五号）

##### （主な内容）

近年の経済情勢の変動により、し尿のくみ取手数料を、二十以当たり百三十五円から百五十五円に引き上げるものです。



## 予算

#### ▼二十一年度一般会計補正予算（第五号）（議案第五十六号）

主な内容は、国の道路特定財源の一般財源化に伴い設立された「地域活力基盤創造交付金」を活用する、華のジュータン形成事業、越前大野駅前整備事業、移動式排水ポンプの整備、福祉バスの購入などの経費が計上されています。

また中挾市営住宅のテレビ共聴設備改善工事などの経費、大野・勝山両市で設置する福井社会保険病院の機能を強化させるための奥越地域総合医療機能研究会への負担金、ならびに緊急雇用創出事業として、真名川河川敷の安全確保を目的に十二人を雇用するための経費なども計上されています。

これらを合計すると、今回、四億六千三百七十二万四千円が追加され、予算の累計が百七十一億三千五百三十万六千円となりました。

#### ▼二十一年度特別会計補正予算（議案第五十七号）（第六十二号）

9月に補正のあった特別会計の補正額と補正後の額		
○老人保健	補正額	3,606万4,000円
	累計	4,221万9,000円
○後期高齢者医療	補正額	44万6,000円
	累計	3億8,228万3,000円
○介護保険事業	補正額	8,663万7,000円
	累計	31億5,439万6,000円
○簡易水道事業	補正額	2,174万6,000円
	累計	1億3,414万4,000円
○農業集落排水事業	補正額	1,223万3,000円
	累計	3億4,766万6,000円
○下水道事業	補正額	3億1,024万3,000円
	累計	13億8,101万7,000円

## 審議日程

- 8月  
 31日 本会議（会期の決定、議案上程・提案理由の説明）
- 9月  
 1日～6日 休会  
 7日 本会議（一般質問）  
 8日 本会議（一般質問、決算特別委員会の設置および委員の選任、陳情上程、各案件委員会付託）  
 決算特別委員会  
 9日 常任委員会（産経建設）  
 10日 常任委員会（民生環境）  
 11日 常任委員会（総務文教）  
 12日～13日 休会  
 14日 特別委員会（中部縦貫自動車道・国道158号整備促進、議会等改革）  
 15日 休会  
 16日 本会議（各委員長報告・質疑・討論・採決、特別委員長報告、追加議案上程・採決、市会案上程・採決）



一般質問  
松田 信子 議員  
(新公会)

越前大野城築城四百三十年祭事業について

**質問** 市民総参加型の祭りを構築すべき。まちづくり、中心市街地活性化事業との関連性をどうとらえているのか。

**答弁** 越前大野城築城四百三十年祭事業は、中心市街地活性化基本計画の主要事業であり、越前おおのの魅力を県内外に発信しブランド力を高め、誘客拡大につなげ賑わいを創出する。終了後は祭りの総括を行い、新たな文化の創造、まちづくり、人づくりにつなげていく。

越前おおの食文化の祭典について

**質問** 十一月十五日開催予定の「食文化の祭典」事業の進捗状況は。

また食育の一つに幼児の料理体験がある。子供用包丁を使用させることは教育的効果があると聞くが、取り入れる考えはないか。

**答弁** 食文化の祭典は「越前おおの食守フェスタ二〇〇九」越前おおの菓匠展「奥越前発酵まつり」「越前おおの

里芋とおにぎり茶屋」の四つのイベントを有機的に結び付けて実施する。

また食育推進策の一つに、子供に料理を体験させ、料理という五感体験を通して、子供の「たくましく生きるチカラ」を育てる体験型教育「キッズ・キッチン」という事業が注目されている。子供用包丁を活用した幼児期からの食教育については、関係機関と協議していく。

子供を取り巻く社会環境浄化について

**質問** 少年犯罪が年々低年齢化している。非行の未然防止をはじめ、危機意識を官民一体で共有すべき。市の責務は。

**答弁** 深夜徘徊、飲酒、喫煙といった不良行為で補導される高校生が増加の傾向にあると聞いている。万一、問題行動が起きた際には、警察と連携して指導する。警察、青少年愛護センター、小中高校の生徒指導担当者による合同の協議会も定期的に開催し、情報の共有を図り連携を密にしている。市長をトップに防犯関係団体、まちづくり団体、青少年団体など二十八の機関や団体を構成員とする官民一体となった組織強化を図り、地域住民による監視の強化や生活環境の改善に努め、安全で安心なまちづくりを推進する。



一般質問  
宮澤 秀樹 議員  
(清新会)

衆議院総選挙の結果について

**質問** 今後の市政や要望活動にどう影響するのか。考えはどうか。

**答弁** 民主党のマニフェスト実現のための財源を捻出するため、経済対策として予算化した本年度予算の一時凍結を示唆しており、本年度以降の本市の事業に影響することを懸念する。福井県市長会や北信越市長会において事業継続となるよう訴える。また地方の実情を訴える。

中部縦貫自動車道・大野インター周辺整備について

**質問** 人の交流、物流、産業、まさに命のインターだと思いが、そのインター周辺には老朽化した市営住宅も存在する。周辺整備をどのように考えるか。

**答弁** 平成十四年に、周辺土地利用構想策定委員会により整備計画を策



定しているが、社会情勢の変化があり、大野市都市マスタープランの中で、来年度末をめどに改訂作業を進める。また市営住宅については、今後、用途の廃止を視野に入れ、関係者と調整を図る。

大野市のPRRとイベントについて

**質問** イベントの取り組みの課題は。

**答弁** 都市圏での出向宣伝を兼ねた物産販売では一過性になり、大野産品を十分理解されていない。また都市圏消費者の動向などの情報が把握されていない。



子育ての環境について

**質問** インフルエンザ予防接種の補助を中学・高校の受験生対象にできないか。

**答弁** 予防接種法では、高齢者以外は接種の対象として規定されず、受験生のみを対象として市が助成することは考えていない。

**質問** 大野市独自の奨学金制度は創設できないか。

**答弁** 県内の他の自治体では、敦賀市、越前市、小浜市、勝山市等が制度を創設しているが、現在、市としては多額の経費を要することなどから考えていない。



一般質問  
沢田 国夫 議員  
(創造みらい)

**大野市の教育文化の向上と発展を促し、夢多き政策の取り組みについて**

**質問** 小松市が行っているような、海外留学に挑む大野人への支援策を考えるとどうか。

**答弁** 留学生個人に対する補助は困難。

**質問** 海外からの留学生や文化使節団等のホームステイ受け入れの拡充を図ってはどうか。

**答弁** 支援の在り方を検討していきたい。

**質問** 国際交流講座などを積極的に開催し、市民の国際感覚向上に取り組んでどうか。

**答弁** 必要性は認識しており、市民のニーズを見極めながら検討していきたい。

**質問** 市直属のオーケストラ等の団体を結成し、物心両面から援助し、市民に憩いの場を提供してはどうか。



**答弁** 市直属ではなく、市民主導の活動の支援に取り組んでいきたい。

**質問** 野球、ソフトボールのための専用球場を建設してはどうか。

**答弁** 財政的に困難であるので、現存する施設の有効利用を図っていきたい。



**新時代に合った雪害対策について**

**質問** 高齢化が進んでいく中で、高齢者にとって住居近辺の除雪作業は大きな悩みとなってきた。奥まった場所や市道認定されていない箇所に住む高齢者の実態把握を行い、各課横断的対策を行うべきではないか。

**答弁** 市内高齢化率は二八・六割に達しており、高齢者のみの世帯も千二十二世帯となっている。また災害時の要援護者の数は四百十人となっており、このうち除雪・排雪が困難な狭い道路沿線には約十四人の高齢者が居住しておられる。このような中で、自主防災組織や、屋根雪下ろしにのみ限定している地域ぐるみ雪下ろし協力推進協議会にお願ひし、雪処理範囲の拡大をお願いしていきたい。



一般質問  
榮 正夫 議員  
(日本共産党)

**政権交代による市政運営について**

**質問** いよいよ長らく続いた自・公政権に代わり民主党中心の政権が生まれることになる。政権交代により「中部縦貫自動車道」等の整備に影響が危惧されることだが、先日、国土交通省の大野・油坂間の路線説明会で「トネル工事について地元のためにも分離発注をしてほしい」と区長さんが要求しているとのこと。自治体としても要求すべきでないか。



**答弁** 先般も国土交通省と福井県と沿線の市町でつくる協議会の席上、国に対して、できる限りこのような経済状況なので、地元企業で受注できるような方法といったものを考えてほしいという発言を各自治体の首長からも行っているし、

当然、私どもも機会あるごとにそのようなことを発言している。

**議案第六十三号屋外広告物条例案について**

**質問** この本市独自の条例案は、県下でも本市だけという特異なものである。このような国民の基本的人権の規制を強める条例を作成するときは、屋外広告物法第二十九条にある「この条例の適用に当たっては、国民の政治活動の自由その他国民の基本的人権を不当に侵害しないように留意しなければならない」を条例案に挿入すべきではないか。

**答弁** このたび上程の条例案は、法の規定に基づき、良好な景観形成や風致の維持、公衆に対する危害の防止という観点から、屋外広告物の表示および屋外広告物を掲出する物件の位置などの基準を定めたもので、法を超えるものでないことと、法第二十九条の規定はこの条例にも効力を有すること、挿入の考えはない。





一般質問  
松井 治男 議員  
(新政会)

街づくりについて

**質問** 越前おおの結ステーションに設置される施設の維持管理について聞きたい。

**答弁** 施設の維持管理に対する直接的な国の支援措置はない。しかし、施設を管理する人員に要する経費については、国の緊急雇用創出事業など、活用できる事業等を掘り起こし、積極的に活用する。

結ステーションの維持管理費は、備品購入などの初期整備が終了した通常年の場合、まちなか観光拠点施設「洋館・平蔵・二階蔵」の約千五百万円を含め、多目的広場兼駐車場、廊下式物品販売所、まちなか交流センターなど、全体で約二千七百万円を見込んでいる。

**質問** 越美北線で来訪する観光客を結ステーションへどう誘導するのか。

**答弁** 本年十月一日から「まちなか循環バス」の試験運行を開始する。越前大野駅を発着地点とし、結ステーションを経由して、南北二ルート、各ルート一日十六便を基本四十五分間で、年

始の三日間を除き毎日運行するので、越前大野駅から結ステーションへ訪れていた観光客の方々にも利用していただける。また循環バスのダイヤは、JR越美北線との乗り継ぎを考慮して設定している。

**質問** 来年予定されている越前大野城築城四百三十年祭以後の輝（キラリ）センターや武者溜の活用計画を聞きたい。

**答弁** 輝センターは、一時休憩所として、商店街情報、観光・イベント情報などを提供し、来訪者をまちなかへ誘導する役割を担っている。さらにイベント開催時には、イベントステージとしての活用を見込んでいる。また

越前おおの中心市街地活性化協議会の部会では、輝センターのさらなる活用策を検討している。

旧大野藩武者溜については、まちなか遠足の子供たちや団体観光客の休憩所として、また市民の文化作品等の展示会場として有効に利用したい。



輝（キラリ）センター

新型インフルエンザについて

**質問** 集団感染が発生した場合の学校や保育園の臨時休校等の基準は。通常との違いは。

**答弁** 通常の季節性のインフルエンザについては法令上の基準はなく、通例では三割近い児童生徒が感染症にかかり、出席停止措置をとらなければならぬ場合、学校は校医の指導を仰ぎ、臨時休業を判断する。

今回の新型インフルエンザの場合は、八月二十六日付けの文部科学省通知に基づき対応することとなっている。本市では、一つの学級で七日以内に二人以上の感染者を確認し、集団感染が疑われる場合には、市の教育委員会に報告し、教育委員会は奥越健康福祉センターと連携し、必要に応じて臨時休業を学校に指示する。

**質問** ワクチン接種費用の一部を助成できないか。



一般質問  
石塚 淳子 議員  
(創造みらい)

**答弁** 国では、優先接種の具体的な接種方法や予防接種法における新型インフルエンザの位置付けなど現在検討中であり、新型インフルエンザの予防接種費用助成については九月中に方針が示される予定であるので、その方針を受けて費用助成について検討したい。

予算等の公開について

**質問** 予算編成過程や査定結果の公開は行政の説明責任であり、職員のコスト意識にもつながる。透明性や情報公開の観点から予算編成過程の公開は。

**答弁** 国や県の財源充当、他の制度や事業との関連など総合的に判断するため、要求のあった事業の規模や内容を大きく変更する可能性があることから、予算編成過程の公開は困難である。

副市長の業務について

**質問** 平成十九年四月一日から副市長二人制で市政の重要な役割を担ってきたが、本年六月から一人制になり三カ月が経過した。業務に支障はないのか。

**答弁** 一部の部長において事務負担が増えたが、組織力全般としては低下することなく、事務事業においても計画どおりの進捗が図られている。

**質問** 今後も副市長一人制でいくのか。  
**答弁** 時代環境を見極めた中で、時と場合によるが、現在は、この体制で一致団結してやっていく。



一般質問  
高岡 和行 議員  
(清新会)

政治姿勢について

**質問** 政権政党の交代において、当市の市政運営に影響があると考えますが、今後の市政運営に影響はないのか。

**答弁** 市政運営に少なからず影響が出ることは明白であり、民主党のマニフェストが実施された場合の影響や問題点の抽出作業を行っている。重要課題として取り組んできた中部縦貫自動車道・国道一五八号の整備促進に大きな影響が出るのではと危惧している。

**質問** 今後の税収は、滞納の現状は。自主財源比率の向上取り組みは。公共施設の維持管理費用等の推移はどうか。

**答弁** 民主党のマニフェストでは、租税特別措置の適用対象や廃止が示されており、今後の個人市民税の税収については不安定な要素が多い。法人税率の引き下げが行われれば、更に深刻な影響が出ると懸念している。

滞納については膨らんできている。早い段階での自主的な納付を促す仕組みが必要である。

不要な土地の売却や基金の有効活用などの洗い直しを順次進めていく。新たな税源確保のため企業誘致をはじめ、地域産業の振興に努める。施設の維持管理費用などの抑制に努めるとともに老朽化に備え、計画的な手当てを行う。

**質問** 地元での消費意欲の高揚施策はどうか。



**答弁** 市や県の助成制度を活用した販売促進のためのイベント等に取り組んでいる。

**質問** オープンカウンターのメリット、および地元業者からの購入率はどうか。

**答弁** 契約の公正性および透明性が確保され、受注機会も拡大されていると考える。今後についても地元業者の選定を優先する発注に努めたい。

**質問** 入札における一社一業種撤廃は本当に企業育成になっているのか。丸投げがないのか。

**答弁** 工事関連の実態等について調査し、今後、その中で徹底を図っていきたい。



一般質問  
浦井 智治 議員  
(日本共産党)

衆院選の結果について

**質問** 自民・公明政権から民主党を中心とする政権に交代したが、国民のどんな意思が反映されたと考えるか。小泉政権の行き過ぎた構造改革路線が国民に否定されたのでは。

**答弁** 雇用不安や社会補償制度の将来への不安に国民の関心が集中し、政権交代に至ったと考える。小泉政権の構造改革は、進めたことが良かったこととあれば、地方交付税の削減など地方としてつらいこともあった。今後の議論で構造改革路線が修正されると思う。

**質問** 民主党のマニフェストに、後期高齢者医療制度や障害者自立支援法の廃止が掲げられているが、本市の計画も見直しが必要では。



**答弁** これらの制度の廃止は関係者の混乱を招くことが懸念される。これに伴う財源については、今後の動向を注

視していく。

精神障害者の社会的自立と社会参加について

**質問** 精神障害の正しい理解のための啓発を。

**答弁** 県では、専門医の講演会・研修会を行っている。市では、ボランティアの協力で文化、スポーツなど地域との交流を図っている。

**質問** 障害者施設との契約は随意契約で。

**答弁** 公園や建物の清掃、袋詰めなど市の作業で随意契約を締結する場合、手続きが必要となるので、取り組み方法を研究していく。

国民健康保険の医療費の一部負担金減免制度、無料低額診療事業の活用を

**質問** 失業者や所得低下で医療費を払えない人には減免を。

**答弁** 現在、市には減免規定はあるが、減免割合、期間、理由などの基準を定めていないため、実際には運用していない。国の方から、平成二十二年度中には一定の基準が示されるので、本市でも二十二年度中には運用基準を制定し、進めていく。

**質問** 無料低額診療事業の活用を。

**答弁** 生活困窮者から相談を受けたら、実施医療機関と連携を取るなど適切に指導する。



一般質問  
藤堂 勝義 議員  
(公明党)

政権交代による地方分権等要望について

**質問** 政権交代による地方分権の市の政策要望は。

**答弁** 市長に就任以来、市の持つ自然や歴史、伝統、文化等魅力ある素材を最大限に活用し、独自性と自主性を発揮し新たな施策を展開して、元気なまち大野を目指し、最大限の努力をしている。

民主党のマニフェストでは地域主権がうたわれているが、権限の移譲や財源の移譲について不透明な状況である。地方分権は、地域住民に即した施策を展開するため不可欠で、市町村の権限強化の実現を図る必要がある。

**質問** 市の重点施策に対し、今後の要望活動は。

**答弁** 国政は継続性のある事業について、政権が代わっても責任をもって遂行されるべきで、継続性を失うことの影響は直接住民が被る。

政権交代により、全国自治体は財源問題を中心に不安を感じている。新内閣に、責任ある国政運営と全国市長会等あらゆる機会を通じ事業継続・実施の要望活動を行う。

閣に、責任ある国政運営と全国市長会等あらゆる機会を通じ事業継続・実施の要望活動を行う。

ヒブワクチンの予防接種について

**質問** ヒブワクチンの予防接種の現状は。

**答弁** ヒブが原因で細菌性髄膜炎を発症した患者は、五歳までの子供で全国年間六百人以上に上る。県内発症者数は、平成二十年は二十二二人、二十一年は八月現在七人で、そのうちヒブ感染者数や市内の感染者数は公表されていない。ヒブワクチン接種の人数は任意のため、その数は把握していない。

**質問** ヒブワクチン接種の公費補助は。

**答弁** ヒブワクチンは十九年一月に認可され、二十年十二月から販売を開始し、接種が可能となった。ワクチンは輸入品であり不足しており、現在は予約による接種となっている。予防接種法では対象外のため、公費助成は国の動向やヒブワクチンの供給状況などを勘案して検討していきたい。



融雪装置の管理責任について

**質問** 融雪装置の管理責任体制は。

**答弁** 市の管理する融雪装置十三カ所、地元管理二十二カ所は、道路パトロールを行い、適正に管理する。

請願

▼「非核日本宣言」を求める意見書採択についての請願(継続審査)

提出日 平成二十一年五月二十九日  
提出者 原水爆禁止国民平和実行連・世界大会福井県実行委員会  
代表委員 平澤 孝 外三名  
紹介議員 浦井智治議員  
審議結果 趣旨採択

陳情

▼「地方財政の充実・強化を求める意見書採択について」

提出日 平成二十一年八月十日  
提出者 自治労福井県本部  
執行委員長 酒井里巳  
審議結果 趣旨採択

人事案件

▼人権擁護委員候補者に山本氏の推薦に同意

人権擁護委員候補者に、山本輝昭氏(井ノ口・新任)を推薦することに同意しました。

▼固定資産評価審査委員会委員に上野氏の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員に、上野法子氏(下麻生嶋・再任)を選任することに同意しました。

七月臨時市議会を開催

第三六四回臨時市議会が七月二十二日に開会され、議案第五十三号から第五十五号を可決しました。

議案第五十三号「平成二十一年度大野市一般会計補正予算(第四号)」では、国の経済危機対策を受けて実施する女性特有のがん対策を推進する事業や、ふるさと雇用再生対策特別交付金事業、緊急雇用創出事業により、市などで雇用を追加創出するための経費などが盛り込まれました。

議案第五十四号「環境・生活安全安心対策事業一般廃棄物処理施設解体工事請負契約の締結について」は、クリーンセンター(東大月地係)、旧和泉村の清掃センター(長野地係)の解体撤去を行う契約を締結するため、議会の議決を求めるもの。また議案第五十五号「上告の提起について」は、十八年度の地域密着型サービス事業者の指定に当たり、社会福祉法人光明寺福祉会を不指定としたことの係争について、市が高等裁判所の判決結果を不服として最高裁に上告するため、議会の議決を求めるものです。

## 平成21年9月第365回定例会 議案等の審議結果および各議員表決

議案番号・議案名等		議員名 (議席番号順)	議決結果	前田政美	谷口治衛	石塚淳子	沢田国夫	藤堂勝義	川端義秀	宮澤秀樹	松原啓治	山本鐵夫	島口敏榮	高岡和行	松田信子	浦井智治	本田章	常見悦郎	松井治男	畑中章男	砂子三郎	榮正夫	
市長 提出 議案	56 平成21年度大野市一般会計補正予算(第5号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	57 平成21年度大野市老人保健特別会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	58 平成21年度大野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	59 平成21年度大野市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	60 平成21年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	61 平成21年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	62 平成21年度大野市下水道事業特別会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	63 大野市屋外広告物条例案	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
	64 大野市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	65 大野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	66 バス運行事業に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	67 阿難祖辺地及び黒谷辺地に係る総合整備計画について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	68 大野市道路線の認定及び廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	69 消防ポンプ自動車売買契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70 平成20年度大野市歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
71 平成20年度大野市水道事業会計の決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
72 人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
73 固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市会案	5 地方行政の円滑なる推進に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情	3 地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	継続分1 「『非核日本宣言』を求める意見書」採択についての請願	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

## 平成21年7月第364回臨時会 議案等の審議結果および各議員表決

議案番号・議案名等		議員名 (議席番号順)	議決結果	前田政美	谷口治衛	石塚淳子	沢田国夫	藤堂勝義	川端義秀	宮澤秀樹	松原啓治	山本鐵夫	島口敏榮	高岡和行	松田信子	浦井智治	本田章	常見悦郎	松井治男	畑中章男	砂子三郎	榮正夫	
議案	53 平成21年度大野市一般会計補正予算(第4号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	54 環境・生活安全安心対策事業 一般廃棄物処理施設解体工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	55 上告の提起について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×

(○：賛成、×：反対、-：欠席、除斥等による不参加。議長(砂子三郎氏)は採決に加わらないので「/」で表示)

### 意見書

定例会最終日に、議員から「地方行政の円滑なる推進に関する意見書」が市会案として提出され、可決されました。

この意見書は、先の衆議院総選挙の結果を踏まえ、基礎自治体である市が、これまで計画的に進めてきた施策に継続して取り組んでいけるよう、主に次の事項について政府関係機関に対して要望するものです。

- ① 中部縦貫自動車道と国道一五八号は、国の責任において事業完了まで進めること
- ② 既に成立している国の予算を凍結しないこと
- ③ 来年度の国の予算編成や施策の方針等を遅延なく示すこと
- ④ 地方分権の推進に当たっては地方に安易に財政負担を求めないこと
- ⑤ 大幅に削減されたきた地方交付税の復元と増額、法人税率改定、自動車関係諸税暫定税率廃止等については代替財源を確保すること
- ⑥ 子ども手当は、地方に財政負担を転嫁せず、市の意見を十分取り入れること
- ⑦ 後期高齢者医療制度を廃止する場合、事務に大きな混乱を生じさせることのないよう適切な対応を講じること

## 常任委員会審査

市長から提出された議案等を審査するため、各委員会が開催されました。委員会における主な質疑等の要旨は次のとおりです。



### 産経建設常任委員会

**Q** 既設の屋外広告物については、市屋外広告物条例の施行後六年を経過する日までは、これまで適用を受けてきた県条例の基準による更新許可が可能とのことだが、それ以後については。

**A** 市条例の基準に違反するものは、設置者の理解を得て、基準に合致するように改造していただくか、または撤去していただくことになる。

**Q** 市内民間事業者が千葉県浦安市の魚市の場に開設するアンテナショップには、どのような品目が揃うのか。

**A** 東京都板橋区の大田商店街「とれたて村」と同様、本市



の農産物、加工品などを五十から六十品目販売する。

**Q** 越前おおの結ステーションの廊下式物品販売所の廊下部分は、昼夜を問わず開放することだが、冬期間や夜間の管理はどうなのか。

**A** 基本的に廊下式物品販売所については、誰もが、いつでも通ることのできる施設としたい。

冬期間は、本施設での出店事業者に販売促進の面からも除雪等をお願いする。それに加え、市担当課においても除雪等や夜間の管理徹底に努めたい。

### 民生環境常任委員会

**Q** 地域ぐるみ雪下ろし推進協議会に対して、はしご・スノッパ・ポンチヨなどの雪下ろし用品の購入を助成する交通安全空間の確保事業の現段階での申し込み状況は。

**A** 現在、希望調査を行っており、平成二十一・二十二年度の二年間で事業を実施する予定である。

**Q** 国民健康保険の直接支払制度はどのようなものか。またいつから実施されるのか。

**A** 国民健康保険の被保険者が出産したとき、今までは医療機関に一旦分娩費の全額を支払い、その後出産一時金の申請をしていた。本年十月からは、出産一時金を市の国民

健康保険から直接医療機関に支払う仕組みとなる。

### 総務文教常任委員会

**Q** 教育活動の支援員は小中学校に何人いるのか。

**A** 九月補正前の段階では、勤務体

系はそれぞれ異なるが、市費で負担している支援員は、さわか支援員が六人、心の相談員が五人、就学支援員が七人、普通学級の支援員が十三人の合計三十一人である。



**Q** 議案第六十七号にある辺地とは何か。

**A** 小中学校や医療機関等までの距離や定期バスの運行状況等を点数化し、百点を超えた場合に辺地として指定でき、市内では三地区が該当する。該当地区内の道路等の公共的施設を整備する際に、有利な起債を充当することができ。

**Q** 越前おおのコミュニティ事業には、どのような申請が出ているのか。

**A** コミュニティ会館に関するもの、とコミュニティを助長するための備品購入があり、主なものには集会所のテレビやエアコン、トイレの改修、祭りのちようちん、草刈機等がある。

## 議会人事

平成二十年度大野市各会計の決算を審査するため、九月定例会において決算特別委員会が設置され、次の委員が選任されました。

- ◎宮澤 秀樹 ○石塚 淳子
  - 前田 政美 藤堂 勝義
  - 山本 鐵夫 高岡 和行
  - 浦井 智治 本田 章
  - 松井 治男
- (◎は委員長、○は副委員長)

### 請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。定例会開会日の午後5時まで提出しますと、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載して、持参の上、提出してください。

- ① 請願・陳情の趣旨（具体的に）
- ② 提出年月日、提出者の住所・氏名（押印必要）
- ③ 請願書の場合は、紹介議員の署名（1人でよい）

※詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

(66-1111 内線253)

## 委員会報告

各委員会における協議事項・意見・要望等の趣旨について、それぞれの委員長は報告は次のとおりです。

### ●産経建設常任委員会

○越前大野駅前整備事業について  
本年度は、検討委員会を立ち上げ、整備方針を策定することだが、近隣住民等の声にも耳を傾け、現状にどのような問題点があるのか、また市民は何を望んでいるのかを十分把握した上で策定されたい。

○出店事業者の公募について  
越前おおの結ステーションの廊下式物品販売所のうち固定式物産販売所の出店事業者選定に当たっては、自らの努力で集客する意欲に満ちた、意識の高い事業者を選定されたい。

### ●民生環境常任委員会

○福井社会保険病院について  
奥越医療圏の中核を担う地域に欠かすことのできない大切な

病院施設なので、存続に向けて、研究・協議をしていただくよう強く求めた。

○新型インフルエンザについて  
慢性疾患のある人や妊婦、乳幼児は重症化する恐れがある。ワクチン不足も懸念されることから、今後とも予防に関する啓発活動を行うとともに、感染状況等を的確に把握し、感染拡大の防止と予防に努められたい。



### ●総務文教常任委員会

○福井国体の競技の招致について  
将来、本市の代名詞となるような競技を市教育委員会として選定し、誘致する競技の長期的な振興策と積極的な誘致活動策を講じるとともに、競技会場には、奥越ふれあい公園隣接地等の市保有地の活用も十分検討されたい。

### ○入札制度について

地元産業の育成を考慮しながら、今後も入札制度の公平性確保を念頭に、さらなる改善への検討を強く望む。

### ●中部縦貫自動車道・国道一五八号整備促進特別委員会

中部縦貫自動車道・国道一五八号の整備は、本市にとって社会基盤施設の根幹であり、また住民も早期完成を望んでいるため、国の責務において、継続的に整備が進められるよう各関係機関に強く要望していくことで意見が一致している。

### ●議会等改革特別委員会

公共施設にかかる借地に関し

ては、現況、問題点等を今一度、検証・精査し、関係者と十分協議を重ね、できるだけ早期に無駄を省く努力をされたい。

市長の専決処分指定事項について、議会の権限であっても、受益者負担の公平性の確保に関する事項や事務事業の迅速・効率化が期待できる軽易な事項は、権限を執行機関に委ね、専決処分の指定事項として位置付けることが必要との意見が多数を占めた。当委員会の意見を議長に報告して、できるだけ早い時期に議員各位の意見を得たい。

## 議 会 日 誌

### ◆8月

- 5日～7日 民生環境常任委員会行政視察 (岡山県津山市、京都府京田辺市ほか)
- 10日 東京都板橋区行政視察来訪
- 11日 福井県市議会議長会定期総会 (福井市)
- 20日 民生環境常任委員会所管調査 (市内福祉施設)
- 24日 会派代表者会議、議会運営委員会、議員全員協議会
- 25日～27日 産経建設常任委員会行政視察 (埼玉県草加市、栃木県宇都宮市ほか)

### ◆9月

- 8月31日～16日 第365回定例市議会

### ◆10月

- 7日 神奈川県南足柄市行政視察来訪
- 7日～9日 総務文教常任委員会行政視察 (東京都立川市・福生市、埼玉県上尾市ほか)
- 8日 埼玉県鴻巣市行政視察来訪
- 16日 東京都武蔵野市行政視察来訪
- 19日 福井県市議会議長会 県要望活動 (福井市)

## 編集後記

今定例会は「政権交代」が最大の焦点となった衆議院議員総選挙直後の議会となり、選挙結果を踏まえ、今後の市政への影響を懸念する声が多く出されました。年金・医療などの社会保障政策、経済・雇用対策、子育て支援対策、そして特に当市にとってはようやく前進のめどがついた中部縦貫自動車道路の方向性。

当市の今後に支障のないよう、市議会として政府関係機関への意見書提出を決議し、市民の皆さまの不安解消に努めているところ です。

今後、来年度予算編成に着手されますが、その方向性においては、新政権の見直し策が注目される所です。

また来年度は、越前大野城築城四百三十年祭が予定されています。議会でも質問や意見提案などを行っていますが、一番重要なことは、市民が一丸となり積極的に参加することです。一過性にならないよう、市民の皆さまのご意見も必要です。

### 議会だより編集委員会

委員 宮澤 秀樹

石塚 淳子

松田 信子

浦井 智治

